

高校生議員の皆さんへ

「かながわハイスクール議会2023」

- 政策提言に答えて -

令和6年2月

神奈川県

## はじめに

令和5年8月7日、9日、17日の日程で「かながわハイスクール議会2023」が開催されました。

最終日には、高校生議長から皆さんの議論の成果である「政策提言書」をいただきました。

県では、皆さんからいただいた提言を真摯に受け止め、実現できる事業について、一生懸命考えました。

そして、いただいた提言に対して一つひとつお答えするべく、この冊子を作成しました。

皆さんには「かながわハイスクール議会2023」への参加をきっかけとして、今後、より積極的に県政に関わる意識を持ち続けていただければ幸いです。

ご参加いただき、真剣に議論をしてくださった高校生議員の皆さんに、改めて心から感謝申し上げます。



## 目次

かながわの未来特別委員会	P. 1
防災警察常任委員会	P. 2
国際文化観光・スポーツ常任委員会	P. 3
環境農政常任委員会	P. 4
厚生常任委員会	P. 5
産業労働常任委員会	P. 6
建設・企業常任委員会	P. 7
文教常任委員会	P. 8

## 「かながわハイスクール議会2023」 - 政策提言に応じて -

### かながわの未来特別委員会

「ウェルビーイング（県民幸福度）を推進し、よりよい神奈川の未来を目指しましょう」  
（SDGs 目標 10）

#### 【提言要旨】

自学自習用の教材（解説動画付きの問題集や授業で使用するもの以外の教材）を作成し、県のホームページに掲載することで、必要とする方々が無料でダウンロード出来るしくみをつくる。

県立高校では、生徒の実情に応じて、自学自習用の教材を学校ホームページにアップロードしている例や、Google Classroom にアップロードし、生徒がダウンロードして利用しやすくしている学校もあります。

例えば、文部科学省スーパーサイエンスハイスクールに指定された学校では、課題研究に係る教材をホームページ上に公開しています。

今後は、このような取組の周知を図っていきます。

【関連局】 教育局

## 防災警察常任委員会

「地域防災の観点からまちを守ろう」（SDGs目標11）

### 【提言要旨 ①】

ヘルメットデザイン総選挙の開催。

神奈川県を学生を対象として、ヘルメットのデザインを募集し、デザインや機能性を加味して、募集した物の中から全学生が気に入ったものに投票する。

ご提案の趣旨を踏まえ、県内高校生を対象とした総選挙について、令和6年度の開催を目途に、ヘルメットデザインの募集や投票の具体的な実施方法を、関係機関と今後検討していきます。

### 【提言要旨 ②】

ヘルメットデザイン総選挙開催後、企業へ商品化の提案をする。

ヘルメットデザイン総選挙後、募集したデザイン等については、高校生の意見としてヘルメットを製造する企業等へ提供したいと考えています。

なお、ヘルメットの商品化にあたっては、耐久性、安全性等を十分検討し製品化しなければならないこと、また、商品化した際に相当数の販売が見込まれることが必要となります。

【関連局】 ぐらし安全防災局

## 国際文化観光・スポーツ常任委員会

「インバウンド訪問者に神奈川に長期滞在していただきましょう」（SDGs目標8・9）

### 【提言要旨 ①】

高校生を主体とした学生の神奈川県地域観光コンシェルジュボランティア団体を設立するための呼びかけを県内各学校へ行う。

また、民営で観光ガイドを行っている方を招いての研修会の実施。

ボランティア団体を設立するなど、高校生が主体的な活動を行えるよう、観光ガイドに興味を持つ高校生が、県が実施している観光ガイド養成講座を聴講できる機会をつくりま

す。

また、ボランティア団体設立後は、この団体への参加を県内各学校に呼び掛けます。

### 【提言要旨 ②】

SNS のハッシュタグを活用し、県内各地域の学生にハッシュタグをつけて神奈川の観光について紹介してほしい、と県から、各地域の学生に発信する。

また、各地域の学校に地域の魅力を紹介してもらうための「学生視点のパンフレット」の作成を依頼する。

県では、県内の大学と連携した取組を進めており、大学生が作成した観光地の魅力を紹介するショート動画等を、観光課の Instagram (tokyo.daytrip\_kanagawa) に投稿し、国内外に向けて発信しています。

また、各種 SNS で#kanagawa を使用して投稿しているのもので、この共通のハッシュタグを用いた、県内各地域の魅力を発信する投稿を高校生に呼び掛けていきます。

併せて、観光に関わる SNS のデータを収集する取組の中で、若年層の投稿を収集・分析し、パンフレットの作成に代え、Web や SNS による情報発信を行う際に活用していきます。若者目線での魅力的な投稿をお待ちしています。

【関連局】国際文化観光局

## 環境農政常任委員会

「かながわの豊かな自然を守りましょう」（SDGs目標11・12・13・14・15）

### 【提言要旨】

授業として、小学校高学年及び、中学生が長期休暇前で第一次産業の現場を訪問し、職業体験を行う。

職業体験後、興味を持った生徒が夏季休暇などの長期休暇を利用し、第一次産業について、より深く学べる機会を設ける。

国では、農林漁業体験や宿泊体験、地域住民との交流を通じて、子供たちの生きる力を育むとともに、交流の創出による地域の再生や活性化を目的として「子ども農山漁村交流プロジェクト」を実施しており、県内の一部の公立小・中学校では、このプロジェクトを活用することも含め、児童・生徒や地域の状況等に応じ、職場体験の一環として農林漁業体験を行っています。

県は、こうした取組を、他の公立小・中学校においても行えるよう、国の事業や、実施校における取組の成果等を、しっかりと周知していきます。

また、県は関係機関と連携して、児童・生徒の皆さんが、第一次産業に触れ、理解を深めるための取組を、農業・畜産業・水産業それぞれの分野で実施しています。

今後もこうした取組を継続するとともに、学校からの要望に応じて、受入先となる関係機関や生産者へ情報提供を行うなど、生産者と学校が連携するためのサポートをしていきます。

【関連局】 環境農政局・教育局

## 厚生常任委員会

「誰もが、いくつになっても元気に生き生きと健康に暮らせるかながわにしましょう」  
(SDGs目標3)

### 【提言要旨 ①】

小・中・高の積極的な性感染症に関する講演の実施。  
一方的に話すのではなく、生徒も積極的に参加するアクティブラーニング講演を県が講演に慣れている団体と連携を取って学校に派遣する。

現在、県では性感染症に関する講演会について、生徒が自身のスケジュールに合わせ、気軽に受講できるよう、動画配信の準備を進めています。

今後、この動画や県が作成している啓発資材等を活用し、放課後や昼休み等の授業以外の時間に、生徒の皆さんが自らアクティブラーニングを実践して欲しいと考えています。

また、現在、講演の講師は県職員の医師や保健師の他、民間の医療機関等からも派遣しています。今後も、より効果的な講演の実施に向けて、講師を選定していきます。

### 【提言要旨 ②】

献血カーなどで性感染症に関する検査ができるというような取組を発信する。

現在、県では性感染症に関する様々な検査機会を設けています。

性感染症の早期の検査は大変重要であるため、今後も県が実施している様々な検査機会について、より一層積極的に情報発信していきます。

なお、献血の際のH I V等の検査については、性感染症の不安のある多くの方が検査目的で献血を行うと、結果として、輸血を必要とする方の感染リスクを高めてしまうため、献血の事業主体である日本赤十字社は検査目的の献血をお断りしている状況です。

【関連局】健康医療局

## 産業労働常任委員会

「経済のエンジンを回し、活力あふれるかながわにしましょう」（SDGs目標8・9）

### 【提言要旨 ①】

工芸技術所の取組の体験活動を県立高校や県立施設まで拡大させ、伝統的工芸品に触れる機会を増やす。

体験活動として、かながわサイエンスサマー参加行事のほか、令和5年11月に、民間商業施設（南足柄市 ヴェルミ）で寄木ストラップづくりの体験イベントを実施しました。

また、神奈川の伝統工芸の沿革や特徴を小・中・高校等に赴いて説明する出前講座も実施しています。

### 【提言要旨 ②】

伝統的工芸品の展示場所を工芸技術所・かながわ県民センター・小田原合同庁舎・県立観音崎公園だけではなく、県立施設に拡大させる。

令和5年度は、工芸技術所、かながわ県民センター、小田原合同庁舎、県立観音崎公園のほか、県立あいかわ公園、県立大磯城山公園、川崎県民センターにおいて展示を実施するなど、県立施設を活用した県内全地域での展示を実施しています。

### 【提言要旨 ③】

若年層に伝統的工芸品への認知を高めるため、高校生独自の視点から、SNS活動（ツイッターやインスタグラム等）による広報活動を行う。

幅広い年代に伝統的工芸品への興味を高めるため、公共交通機関などに広告をのせる。

SNSの活用については、今後、かながわサイエンスサマー参加行事や出前講座等を行った際、参加した高校生等に対して、独自の視点からSNSによる情報発信を行ってもらえるよう働きかけていきます。

公共交通機関への広告掲載については、費用対効果も踏まえた検討が必要ですので、ただちに実施するのは困難ですが、伝統工芸品に関する取組の積極的な記者発表や県のたよりへの掲載、伝統工芸品の紹介動画の作成など、幅広い年代に対する広報活動に取り組んでいきます。

【関連局】産業労働局

## 建設・企業常任委員会

「地域の特性を踏まえた持続可能なまちを作ろう」（SDGs目標11）

### 【提言要旨 ①】

県営住宅の住人を対象とし、モーニングbuffetを低額で提供し、住民同士交流しながら朝ご飯を食べるという「朝活」を企画する。

県営団地では、コミュニティルームを整備しており、ミニキッチンもあることから、お茶会の開催など、入居者等の交流拠点として活用されています。

食品衛生上の観点から、モーニングbuffetの提供は困難ですが、「朝活」という提案の趣旨を踏まえ、住民同士の交流について、県として支援していきます。

### 【提言要旨 ②】

団地の壁にプロジェクションマッピングを開設する。

団地の壁でのプロジェクションマッピングの実施については、プロジェクションマッピングに力を入れている学生団体などに確認の上、希望する団地自治会に対して支援していきます。

### 【提言要旨 ③】

近隣地域の高校、大学の部活動などのスポーツ観戦を空き住居を使って一緒に応援したり、グッズ作成を行う。

県は、高齢者等の支え合い活動や子どもの居場所づくり等を実施するNPO法人等へ、県営団地の空き住戸を整備して提供することで、入居者のコミュニティ活動への参加を促しています。

ご提案のあった空き住戸でのスポーツ観戦については、提案の趣旨を踏まえ、コミュニティ活動への参加促進の一環として、実施を支援していきます。

【関連局】 県土整備局

## 文教常任委員会

「変わりゆく社会において、誰もがチカラを発揮するための多様な学びについて」  
(SDGs目標4)

### 【提言要旨 ①】

高校生が SDGs に関する商品を一から考案し、最終的に企業に向けてのプレゼンを行う。

県立高校の中には、「ローカルSDGs（地域におけるSDGs）」をテーマに、地域の名産を使った商品を考案し、企業の協力を得て実際に販売した学校もあります。

今後は、このような取組の周知を図っていきます。

### 【提言要旨 ②】

高校生が SDGs の活動を促す CM を作成し、SNS を通して発信する。

県立高校の中には、食品ロス削減に向けて、ポスターやPOPを作って、店舗で使ってもらうことで啓発活動を行った学校や、SDGsに関する自分たちの取組を動画等でInstagramで発信している学校もあります。

今後は、こうしたSDGsの活動を促す啓発活動について、SNSを通して広く発信することを働きかけていきます。

【関連局】 教育局

## 問合せ先

神奈川県教育委員会

教育局総務室 教育ビジョン・広報グループ

〒231-8588 横浜市中区日本大通 1

電話：045-210-8078（直通）